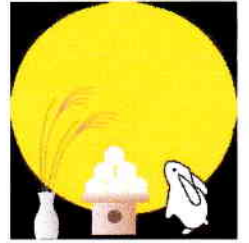




徳成寺

寺ともかわら版

第81号・2013年9月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

皆様のご協力とお参り、さらにはお供えを賜り、

秋の法要を勤めることができたことを厚く御礼申し上げます。

法要というのは、暮らしの中でとても大切な役割があります。

それは目に見えないものつつながり、支えられていることを

再確認する貴重な役割です。

これを怠ると、目に見える物しか信じられなくなり、振り回

され、依存的になり、自他を尊べない傲慢な人になってしまい

ます。法要を通じ常日頃忘れていたつながりを思い起こし、

今もこの先も決して孤立しない、人生の豊かさを感じて下さい。

—発行責任者—

住職
大山 健児

坊守
大山 ひとみ



徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

長男です。今回はこの夏に受けてきた教師資格検定についてお話をしようと思います。住職になるためにはいくつか方法があるのですが、その一つに真宗大谷派教師資格というものがあります。大谷派の住職を名乗るには最低限知っておかなければならない知識を問われる試験で、全部で5科目あります。どの教科も非常に難しく、全てを一発でパスする人は中々居ないようです。私も例に漏れず、先月受けた一回目の試験ですべての教科をパスすることは出来ませんでした。幸いにも大学の単位のように受かった教科の再受験はありませんので、来年の春にある試験に向けて気を引き締めて再チャレンジにかかりたいと思います。



境内草むしり作業中